

◆好調カテゴリー別 金額市場規模前年比一覽

主食		
前月よりも伸長し、前年比106.9%と前年を上回った。販売数量が伸びたカテゴリーもあるが、値上げによる価格上昇も影響。「米飯類」：カレーご飯やおかゆなどが好調。簡便化志向の高まりのほか、新型コロナウイルスの感染拡大を背景する自宅療養の需要も好調要因として挙げられる。「袋インスタント麺、カップインスタント麺、スパゲティ」：値上げによる価格上昇の影響で販売金額が増加したものの、販売数量は伸び悩んだ。		
カテゴリー	金額前年比 2022年12月	前月差 2022年12月
主食 TOTAL	106.9	2.8
米	104.4	1.7
米飯類	113.2	4.2
食パン	109.1	0.9
菓子パン・調理パン	103.0	0.7
シリアル類		
袋インスタント麺	112.4	5.7
カップインスタント麺	110.8	6.5
乾麺	109.1	2.1
生麺・ゆで麺	108.8	3.5
スパゲティ	120.9	3.8
マカロニ類	102.9	-2.9
小麦粉	104.4	6.6
てんぷら粉	101.4	4.1
唐揚げ粉		
パン粉	102.3	1.3
ブレミックス	106.6	3.3

調味料		
前月よりも伸長し、前年比103.6%と前年を上回った。「蜂蜜」：値上げの影響もあるが、販売数量でも緩やかな増加が見られた。前年に安全性への懸念から一部買い控えの動きがあったことから、反動により増加したものと考えられる。「ケチャップ」：値上げの影響もあるが、高リコピンや有機栽培のトマトを使用したものなど健康価値を訴求する商品の販売増も見られた。「マヨネーズ」：販売金額は増加したものの、価格上昇によるもので、販売数量は減少。「サラダ油・天ぷら油」：値上げの影響で販売金額は伸びているものの、販売容量は落ち込んだ。とりわけ、キャノーラ油は値上げ幅が大きく、販売容量の落ち込みが続いている。		
カテゴリー	金額前年比 2022年12月	前月差 2022年12月
調味料 TOTAL	103.6	2.2
醤油	100.3	1.9
味噌	102.0	4.9
食塩		
料理酒		
砂糖		
低カロリー甘味料		
シロップ類	108.2	2.2
蜂蜜	110.1	8.9
ソース	104.0	-2.8
ケチャップ	110.5	-2.2
マヨネーズ	111.6	2.5
ドレッシング	100.5	0.5
香辛料	102.8	2.0
エッセンス類		
焼肉シャブシャブのタレ		
食酢	102.1	3.8
ほん酢		
本みりん	100.4	-0.6
みりん風調味料		
風味調味料	100.8	7.2
削り節		
煮干し	102.6	6.3
わかめ・こんぶ類		
つゆ・煮物料理の素	102.7	4.4
サラダ油・天ぷら油	114.3	0.1
ゴマ油	106.4	2.2
バター	100.5	0.1
マーガリン類	104.3	0.1
チーズ	107.2	2.4
ジャム・ママレード	104.1	2.6

※網掛け  
前年比 105%超: 106.6

加工食品①		
前月よりも伸長し、前年比108.5%と前年を上回った。「カレー」：値上げの影響もあるが、レトルトカレーでは低価格な商品の好調もあり、販売数量の伸びも見られた。「シチュー」：値上げの影響もあるが、前年よりも気温が低かったため需要が拡大したと見て取れる。「スープ類」：前年よりも気温が低かったため需要が拡大したと見て取れる。「冷凍調理」：値上げの影響もあるが、簡便化志向の高まりを背景に販売数量も堅調に推移した。		
カテゴリー	金額前年比 2022年12月	前月差 2022年12月
加工食品① TOTAL	108.5	3.3
春雨・くず切り	102.1	2.6
こうや豆腐		
海苔	100.5	0.6
ふりかけ	109.5	4.0
お茶漬の素	106.5	6.3
まぜご飯の素	107.5	6.1
カレー	109.4	2.5
シチュー	110.4	6.0
パスタソース	108.9	1.5
シチューベース		
メニュー専用料理の素		
スープ類	107.2	7.9
味噌汁・吸物類	105.0	4.3
調理用スープ	105.8	7.7
冷凍水産		
冷凍農産	108.5	-4.3
冷凍調理	113.7	3.5

加工食品②		
前月よりも伸長し、前年比103.6%と前年を上回った。「パウチ入り食材」：季節商品であるだけのこの水煮が値上がりしており、販売金額の伸びに寄与したと見られる。「洋風食品」：ピザやグラタンなどが好調。「焼豚」：有名ラーメン店監修の厚切りタイプや、サラダ・サンドイッチなどに使用できる切り落としタイプが好調。		
カテゴリー	金額前年比 2022年12月	前月差 2022年12月
加工食品② TOTAL	103.6	1.4
魚介類缶詰	102.8	4.0
野菜缶詰	103.6	3.7
フルーツ缶詰	103.0	4.8
畜肉缶詰	100.4	3.0
パウチ入り食材	106.8	2.1
和風食品	103.7	-5.8
洋風食品	105.6	0.8
中華風食品	101.6	1.6
畜肉ハム	102.4	-0.1
畜肉ソーセージ	104.0	1.7
魚肉ソーセージ		
焼豚	107.2	0.1
ベーコン	104.7	4.5

加工食品③		
前月よりも伸長し、前年比105.3%と前年を上回った。値上げの影響もあるが、前年よりも気温が低かったため、鍋やおでん用などの需要が底堅く推移したと見られる。		
カテゴリー	金額前年比 2022年12月	前月差 2022年12月
加工食品③ TOTAL	105.3	1.9
かまぼこ	106.6	-3.4
ちくわ	109.6	1.6
はんぺん	107.0	6.2
揚げ物	111.6	7.7
納豆	101.7	1.8
煮豆	101.9	-0.1
佃煮	103.4	3.3
もずく・めかぶ	104.3	0.2
豆腐類	104.9	2.2

菓子		
前月よりも伸長し、前年比106.3%と前年を上回った。「キャンディ」：グミの好調が継続するほか、感染拡大を背景として、のど飴の需要も伸長。「スナック」：値上げの影響もあるが、月の前半に販売数量の伸びも見られ、ワールドカップ観戦時の需要によるものと推察される。「栄養バランス食品」：値上げの影響も見られたが、外出増による小腹満たし需要もあり、販売数量も堅調に推移した。		
カテゴリー	金額前年比 2022年12月	前月差 2022年12月
菓子 TOTAL	106.3	1.2
チョコレート	102.4	1.9
キャラメル	102.9	0.2
キャンディ	116.6	7.3
チューインガム		
ビスケット&クラッカー	105.9	-0.5
スナック	114.4	-0.3
煎餅・あられ	106.3	2.5
玩具メーカー菓子		
栄養バランス食品	107.3	-2.0

嗜好品		
前月よりも伸長し、前年比105.5%と前年を上回った。「レギュラーコーヒー」：値上げの影響により販売金額は伸長したものの、販売数量は伸び悩んだ。「紅茶」：値上げの影響も見られたが、前年よりも気温が低かったため、販売数量も底堅く推移した。「ココア」：前年よりも気温が低かったため、伸長したと見られる。		
カテゴリー	金額前年比 2022年12月	前月差 2022年12月
嗜好品 TOTAL	105.5	1.9
アイスクリーム	104.9	-0.8
デザート類	107.7	5.3
ベビーフード	104.2	-0.7
インスタントクリーム	101.6	6.2
フレッシュクリーム	102.4	3.0
ホイップクリーム	105.1	3.4
インスタントコーヒー	103.5	4.5
レギュラーコーヒー	113.8	1.1
紅茶	109.6	8.3
ココア	109.9	7.3
日本茶		
麦茶	100.1	-1.1
中国茶		

飲料		
前月よりも緩やかに落ち込んだものの、前年比104.4%と前年を上回った。「乳酸菌飲料」：ストレス緩和等の効果を訴求する、機能的表示食品の商品の好調が継続。各種メディアで取り上げられ注目を集めたため、いっそう伸長したと見られる。「スポーツドリンク」：感染拡大を背景として、自宅療養用の需要が伸びたと見て取れる。		
カテゴリー	金額前年比 2022年12月	前月差 2022年12月
飲料 TOTAL	104.4	-0.3
牛乳	103.8	-3.5
ヨーグルト	105.5	2.5
乳酸菌飲料	152.0	11.8
豆乳		
100%ジュース	101.6	-1.9
果汁飲料	125.5	-2.8
トマトジュース	103.2	-3.7
野菜ジュース		
コーラ		
サイダー		
炭酸飲料	101.8	-2.7
コーヒードリンク		
紅茶ドリンク	104.5	3.9
液体茶		
スポーツドリンク	123.8	12.0
美容・健康ドリンク	113.9	2.9
栄養ドリンク	100.6	-1.2
ミネラルウォーター類	111.8	-0.6
乳酸飲料	115.5	2.2

アルコール		
前月よりも緩やかに伸長し、前年比101.3%と前年を上回った。ただし、値上げによる販売金額の伸びが見られており、販売数量では伸び悩んだ。外出増に伴う家飲み需要縮小の影響もあると推察。		
カテゴリー	金額前年比 2022年12月	前月差 2022年12月
アルコール TOTAL	101.3	0.3
ビール類		
ウイスキー	106.9	-1.3
ワイン		
日本酒	102.1	3.9
焼酎		

日用雑貨		
前月よりも伸長し、前年比103.5%と前年を上回った。「カビ防止剤」：「お風呂場に置くだけで防カビ対策ができる」と訴求する新商品の好調が継続。「ラッピングフィルム、アルミホイル」：値上げの影響で伸長したと見て取れる。「使い捨てカイロ」：前年よりも気温が低かったため、伸長したと見られる。		
カテゴリー	金額前年比 2022年12月	前月差 2022年12月
日用雑貨 TOTAL	103.5	2.9
歯ブラシ		
歯磨き		
マウスウォッシュ		
義歯用剤		
洗濯用洗剤	102.9	-0.5
中性洗剤		
漂白剤	102.4	1.1
柔軟剤		
台所用洗剤		
住居用クリーナー	107.9	-6.3
トイレ用クリーナー		
バスクリーナー	100.9	2.7
パイプクリーナー		
家庭用手袋	104.8	8.3
化学雑巾	100.0	0.3
たわし・スポンジ	102.3	2.5
水切り袋	108.5	2.2
殺虫剤	102.0	0.2
防虫剤		
カビ防止剤	117.5	-1.2
芳香・消臭剤		
トイレタンク用洗浄芳香剤		
除湿剤	109.2	13.6
ラッピングフィルム	115.8	8.4
アルミホイル	118.8	-3.1
食品包装用品	104.3	-0.8
アルミガスマット		
ティッシュペーパー	105.3	3.5
トイレットペーパー	106.0	1.7
ペーパータオル	109.0	2.1
ぬれティッシュ	108.9	1.1
使い捨て紙クリーナー		
紙おむつ	101.0	-2.4
大人紙おむつ	105.9	3.4
生理用品		
絆創膏	107.0	8.9
使い捨てカイロ	123.8	30.4
綿棒		

ペット		
前月よりも伸長し、前年比107.3%と前年を上回った。ただし、各種ペットフード・用品について、値上げの影響により販売金額は伸びているものの、販売数量は苦戦した。		
カテゴリー	金額前年比 2022年12月	前月差 2022年12月
ペット TOTAL	107.3	1.5
ドッグフード	104.7	0.3
キャットフード	112.3	1.4
ペット用品	106.6	2.0

石鹸・ヘアケア		
前月よりも緩やかに落ち込み、前年比99.5%と前年をやや下回った。「ヘアトリートメント」：カラートリートメントが好調。ヘアカラーと比べ髪や頭皮への刺激を抑えられ、美容院に行かなくても家で手軽に安く染められることから人気となっていると考えられる。「ヘアリンス」：ダメージケアの効果を訴求する、高価格・高付加価値商品の人気が見られた。		
カテゴリー	金額前年比 2022年12月	前月差 2022年12月
石鹸・ヘアケア TOTAL	99.5	-0.3
石鹸		
入浴剤		
シャンプー	101.8	0.4
ヘアリンス	102.1	-0.1
ヘアトリートメント	106.3	-2.6
アウトバスヘアケア		
ヘアカラー	102.0	-2.5
ヘアリンス		
育毛トニック		
制汗剤		

化粧品		
前月よりも緩やかに伸長し、前年比103.0%と前年を上回った。「洗顔クリーム、パック」：インバウンド需要による伸長が見られた。「口紅」：前月ほどの勢いはないものの、マスク着用でも落ちにくいと訴求する商品の好調もあり伸長。		
カテゴリー	金額前年比 2022年12月	前月差 2022年12月
化粧品 TOTAL	103.0	0.5
クレンジング		
洗顔クリーム	107.7	0.2
化粧水	101.8	6.8
乳液	103.9	2.6
栄養クリーム	104.2	3.3
パック	110.2	-2.8
美容液		
化粧下地		
ファンデーション	100.1	-0.6
おしろい		
口紅	117.1	-51.6
眉目料	100.8	-2.3
マニキュア		

医薬品		
前月よりも伸長し、前年比124.2%と前年を上回った。感染拡大を背景として、口腔用薬、鎮咳去痰剤、総合感冒薬、解熱鎮痛剤と風邪関連薬が大きく伸長。漢方薬やミドリンク剤の伸長も、感染拡大の影響と考えられる。風邪関連薬では、インバウンド需要の寄与も見られた。中国で感染が急拡大したことで、中国向けの爆買いが起きたことも伸長の要因と推察される。整腸薬や外用鎮痛消炎剤などの医薬品でも、インバウンド需要による伸長が見られた。		
カテゴリー	金額前年比 2022年12月	前月差 2022年12月
医薬品 TOTAL	124.2	11.5
コンタクト用剤		
マスク	104.1	-4.7
ミドリンク剤	113.5	9.5
漢方薬	123.0	19.2
総合感冒薬	197.3	66.9
鼻炎治療剤	114.3	11.2
解熱鎮痛剤	158.7	33.0
鎮咳去痰剤	185.7	47.6
口腔用薬	210.7	59.5
胃腸薬	106.7	2.2
整腸薬	125.2	0.1
外用鎮痛消炎剤	114.2	2.9
皮膚用薬	109.1	9.6
目薬	102.2	-1.8
健康食品	103.2	0.7

ペット		
前月よりも伸長し、前年比107.3%と前年を上回った。ただし、各種ペットフード・用品について、値上げの影響により販売金額は伸びているものの、販売数量は苦戦した。		
カテゴリー	金額前年比 2022年12月	前月差 2022年12月
ペット TOTAL	107.3	1.5
ドッグフード	104.7	0.3
キャットフード	112.3	1.4
ペット用品	106.6	2.0

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート第三者開示・利用基準」に従います。また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。